



若者の 田園 回帰による やまがた 創生

令和元年 **10/16** 水 **入場無料**
(定員300名)

13時30分～17時(13時開場)
ホテルメトロポリタン山形
霞城 (山形市香澄町一丁目1-1)

山形での魅力ある暮らしと 地域活性化への挑戦

我が国は、本格的な人口減少社会に突入し、地方は大都市への人口集中による深刻な過疎化など様々な課題に直面しております。山形県では、課題の解決に向け、若者の定着・回帰の促進など各種施策に取り組んでおります。

そんな中、県内では、若い人材がUターンにより定着し、地域活性化に取り組む実例が見受けられます。そうした実例の紹介を交えながら、地域活性化の今後の展望について考えます。

基調講演

「山形庄内から、ときめこう」



山中 大介 氏
(ヤマガタデザイン株式会社 代表取締役)

パネルディスカッション

「山形での魅力ある暮らしと 地域活性化への挑戦」

コーディネーター

松村 茂 氏 (東北芸術工科大学 教授)

パネリスト

佐々木 隆馬 氏 (大江町山里交流館やまさあーべ 館長)
梶村 勢至 氏 (真室川町企画課企画調整係 移住定住推進員)
黒田 三佳 氏 (人材育成アカデミーローズレーン 代表)
松本 友哉 氏 (合同会社とびしま 共同代表)

※フォーラム終了後、17:30から交流会を開催します。詳細は裏面をご覧ください。

プログラム

13:00～

開場・受付

13:30～

開会・挨拶

13:40～

基調講演

「山形庄内から、ときめこう」

山中 大介 氏

15:00～

パネルディスカッション

「山形での魅力ある暮らしと
地域活性化への挑戦」

コーディネーター:

松村 茂 氏

パネリスト:

佐々木 隆馬 氏、梶村 勢至 氏

黒田 三佳 氏、松本 友哉 氏

17:00

閉会

17:30

交流会

会 場: ホテルメトロポリタン山形 出羽
参加費: 4,000円(当日集金)

ご参加いただける場合は、
下記の参加申込書にご記入ください。

応募要項

参加申し込み方法

下記の参加申込書をFAXで送信していただくか、当センターホームページ内「地方創生フォーラムin山形」の申込フォーム又はメールに必要事項(団体・会社名、郵便番号・住所、氏名、電話番号、交流会への参加の有無)をご記入の上、お申し込みください。

※先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます。

※申し込み締め切り: 10月2日(水)



お問い合わせ・お申し込み先

一般財団法人地域活性化センター
情報・広報グループ地域づくり情報課
〒103-0027

東京都中央区日本橋2-3-4日本橋プラザビル13階

(TEL) 03-5202-6138 (FAX) 03-5202-0755

(E-mail) jcrd-forum@jcrd.jp

(URL) http://www.jcrd.jp/

交流会のお問い合わせ先

山形県企画振興都市町村課地域活力創造室

(TEL) 023-630-3407

(FAX) 023-630-2130

(E-mail) yshichoson@pref.yamagata.jp

※10月2日以降の交流会キャンセルは、
キャンセル料が発生する場合があります。

会場アクセス

JR山形駅直結

基調講演

敬称略



山中 大介 (やまなか だいすけ)
ヤマガタデザイン株式会社 代表取締役

1985年東京都生まれ。2008年慶應義塾大学環境情報学部を卒業後、三井不動産株式会社入社。郊外型大型商業施設の開発と運営に携わった後、2014年に山形県鶴岡市に移住し、庄内地域の街づくりを行うヤマガタデザイン株式会社を設立。サイエンスパークの開発を指揮し、2018年には「ショウナイホテル スイデテラス」と「キッズドームソライ」をオープンさせた。同年、農業分野にも参入し、2019年には、行政、JA、学術機関と共に、農業経営者育成学校の整備に着手。

パネルディスカッション

敬称略

コーディネーター



松村 茂 (まつむら しげる)
東北芸術工科大学 教授

東京都生まれ。工学博士。東京大学大学院修了。東京大学先端科学技術研究センター助手を経て現職。専門分野は、現代社会論、テレワーク論、パブリックワークプレイス論(コワーキングスペース等)、起業論。テレワーク社会のワーカーの働き方やライフスタイル、地域の姿を研究・提案している。近著に、「R&D部門の"働き方改革"とその進め方 ワークスタイル変革を促進するテレワークの現状と将来展望」(共著) 技術情報協会2018など多数。

パネリスト



佐々木 隆馬 (ささき りゅうま)
大江町山里交流館やまさあべ 館長

1978年神奈川県横浜市生まれ。2007年帝京科学大学大学院理工学研究科アニメーション専攻修了後、(公財)埼玉県生態系保護協会の研究員として環境教育や自然環境の調査業務などに従事。その後、2015年に大江町地域おこし協力隊として同町に家族とともに移住。廃校をリノベーションして作られた宿泊型の体験施設「大江町山里交流館やまさあべ」の館長、及びネイチャーガイドとして施設を運営し、エコツーリズムによる自然再生と地域活性化を目指して活動。2018年末に協力隊の任期を終了してからも集落支援員として活動を継続中。



梶村 勢至 (かじむら せいじ)
真室川町企画課企画調整係 移住定住推進員

滋賀県生まれ。東京農業大学農学部卒業。和歌山県本宮町(現・田辺市本宮町)の温泉旅館に3年半勤務後、農業フリーターとして住み込みのアルバイトをしながら全国の農業に触れる。東京での教育ベンチャー企業での勤務を経て独立。2013年に神奈川県川崎市から山形市に移住し、「山形おこしソソ」など地域おこしの勉強会やワークショップを企画・コーディネート・実施。2015年に真室川町の地域おこし協力隊に着任。2018年から現職。



黒田 三佳 (くろだ みか)
人材育成アカデミーローズレーン 代表

東京都生まれ。北欧デンマークで暮らした後、憧れの山形に移住。歴史ある里山で東北と北欧の暮らしの共通性を見出す。1200坪の森を自ら管理し暮らし、里山ソムリエ™として、新しいライフスタイルと働き方を発信。人材育成、国際交流、ワークライフバランス、子育てなどをテーマに全国で講演。山形大学学術研究院非常勤講師。修士(工学)。



松本 友哉 (まつもと ともや)
合同会社とびしま 共同代表

山口県美祢市生まれ。2012年に山形県の離島である飛島に移住し、島のUターン若者と「合同会社とびしま」を設立する。2019年の合同会社とびしまは、20～30代の社員14名で構成され、旅館の運営、カフェや居酒屋の運営、島内ガイドなど観光に関する事業の他、水道施設の管理や除草、除雪作業など島の生活に関する事業も行う。現在、平均年齢70歳、人口200人の小さな島を舞台に、これから必要とされる新しい自治体のかたちを模索中。

地方創生フォーラムin山形 参加申込書

FAX 03-5202-0755

団体・会社名		メールアドレス	
連絡先住所	〒	TEL・FAX	TEL
			FAX
参加者氏名(ヨミガナ)		所属部署・役職	交流会 ※どちらかに○をつけてください。
			参加 ・ 不参加

※お申込みいただいた方の個人情報は、本フォーラムに関する以外の目的には使用いたしません。 ※記載欄が足りない場合は、適宜この用紙をコピーしてお申し込みください。